

津波ハザードマップ

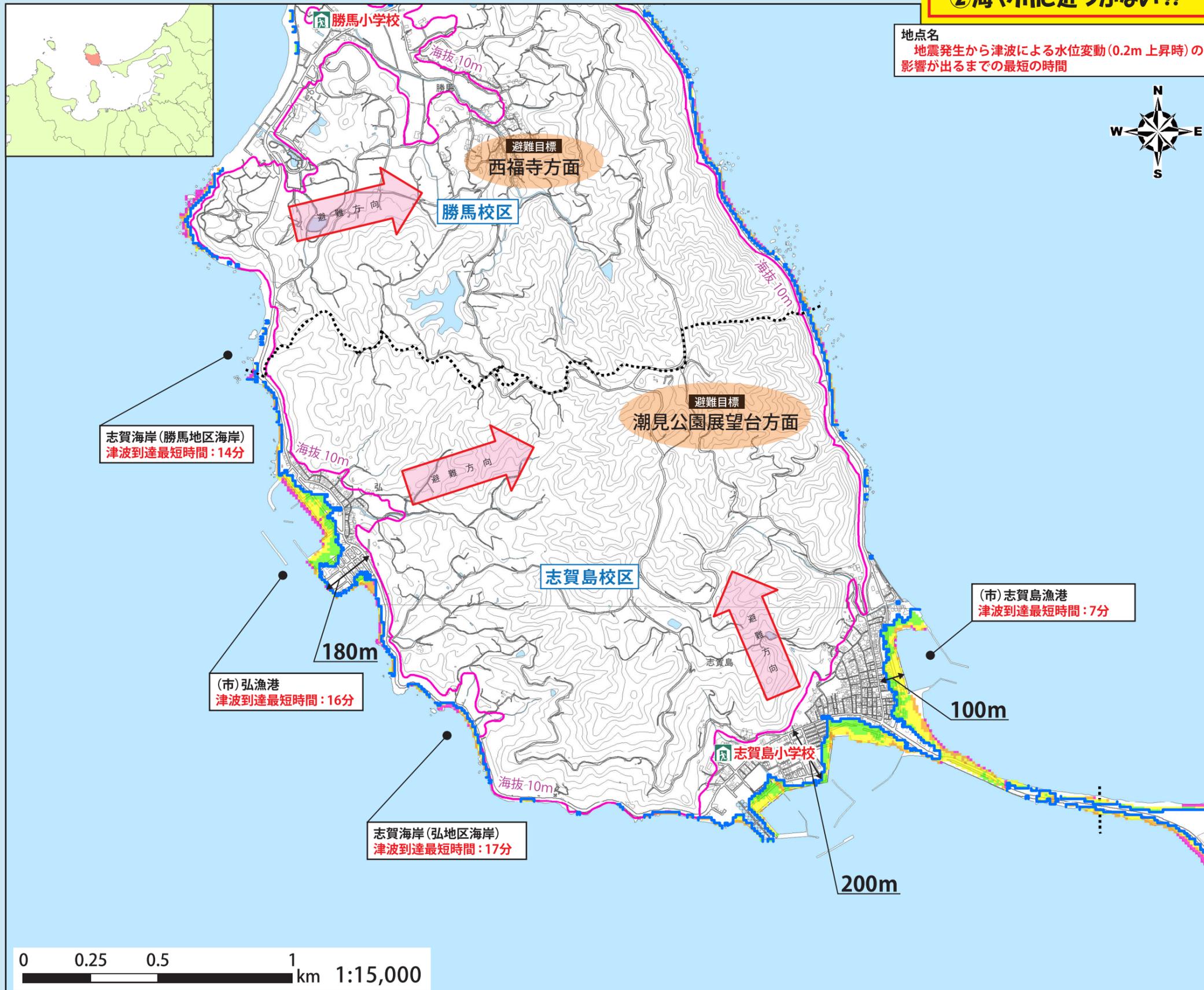


～揺れたら逃げよう！～

- ①避難は「遠く」より「高く」に！！
- ②海や川に近づかない！！

強い揺れを感じたら浸水が予想される区域外もしくは避難所等に避難しましょう。

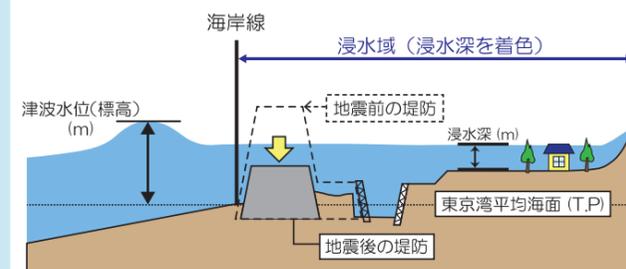
■地震発生後、津波警報・大津波警報が発表されたときはすぐ避難！！



市が指定する周辺の避難場所情報

種別	名称	TEL	標高 (m)T.P
避難所	志賀島小学校	603-6506	3.2
津波避難場所			

浸水域と浸水深の模式図



※日本の土地の高さ(標高 T.P)は、東京湾の平均海面を基準(標高 0m)として測られており、津波水位(標高 T.P)は、この東京湾平均海面からの高さを示しています。

博多湾の期望平均満潮位: TP1.16m
 ※期望平均満潮位とは、各月の朔(新月)または望(満月)の日の前2日、後4日以内に観測された最高満潮位の年平均値。

凡例

- 避難所
- 津波避難場所
- 避難方向
- 予想津波到達ライン
- 行政区界
- 校区界

想定される浸水深の目安

- 2.0m ~ 5.0m 未満
- 1.0m ~ 2.0m 未満
- 0.3m ~ 1.0m 未満
- 0.01m ~ 0.3m 未満

※浸水深とは 水面～地盤までの深さ

木造家屋には 避難しない

～津波災害 Q & A～

Q 津波から身を守るためには？

A：津波による被害が想定される範囲や、どう行動するかなど事前に確認しておきましょう。

	<p>① テレビ・ラジオなどで正しい情報を テレビ・ラジオなどで、津波の警報や注意報などを入手。正しい情報に基づいて行動しましょう。</p>		<p>④ 地域での協力が大切 避難の時には隣近所にも声を掛け合い、みんなでけがや病気の人の手助けを行うなど、地域で協力し合う避難を心掛けましょう。</p>
	<p>② 避難は徒歩で 車による避難は渋滞を引き起こし、一刻を争う津波からの避難には、かえって危険です。</p>		<p>⑤ 海辺や川べりには近づかない 地震の後には、護岸や堤防が崩れる恐れがあり、海辺や川べりには非常に危険です。</p>
	<p>③ 避難は「遠く」より「高く」に 避難は、時間との戦いです。遠くに避難するよりも、近くにある鉄筋コンクリート造りなどの高い建物の上階に避難しましょう。</p>		<p>⑥ 水が引いても安全が確認できるまでもどらない 津波は第1波、第2波と何度も押し寄せてきます。津波注意報の解除など安全が確認できるまで避難場所等に留まりましょう。</p>

Q 津波に関する警報・注意報は？

A：津波が予想される場合には、気象庁より警報や、注意報が発表されます。大津波警報や津波警報の時は、すぐに次のような行動をとりましょう。

	予想される津波の高さ		身を守る行動	想定される危険
	数値での発表 (発表基準)	巨大地震の 場合の表現		
大津波警報 (特別警報)	10m超 (10m<高さ)	巨大	海岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。	木造家屋は全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれる。
	10m (5m<高さ≤10m)			
	5m (3m<高さ≤5m)			
津波警報	3m (1m<高さ≤3m)	高い	ここなら安全と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう。	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生する。人は津波による流れに巻き込まれる。
津波注意報	1m (20cm<高さ≤1m)	標記しない	海辺にいる人は、ただちに海から上がって、海岸から離れてください。津波注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近づいたりしないでください。	海辺にいる人は、速い流れに巻き込まれる。

Q 正確な津波情報・避難情報の収集は？

A：①防災メールで津波情報をキャッチ！ ②テレビ・ラジオ・インターネットで情報を入手！

<p>津波の情報や避難情報をメールで受け取ることができます。</p> <p>entry@fukuoka-city.jp</p> <p>に空メールを送信するか、右のコードからアクセスして登録を！</p>	<p>テレビの①ボタン(データ放送) データ放送に対応しているテレビでは、①ボタンを押すことで、地震や津波の情報(NHK総合提供)を確認することができます。</p> <p>ラジオ AM NHK福岡 612 kHz FM NHK-FM 84.8MHz ケーブルテレビ J:COM チャンネル福岡</p>	<p>気象庁 http://www.jma.go.jp/jma</p> <p>・大津波警報 ・津波警報 ・津波注意報 等</p>
--	--	--

Q 福岡市における津波のおそれは？

A：福岡県や国が行った津波の想定によると、福岡市に津波をもたらす波源の断層は2箇所あります。

■津波が襲来する可能性がある沿岸

●玄界灘沿岸(対象：福岡市)

■津波をもたらす断層

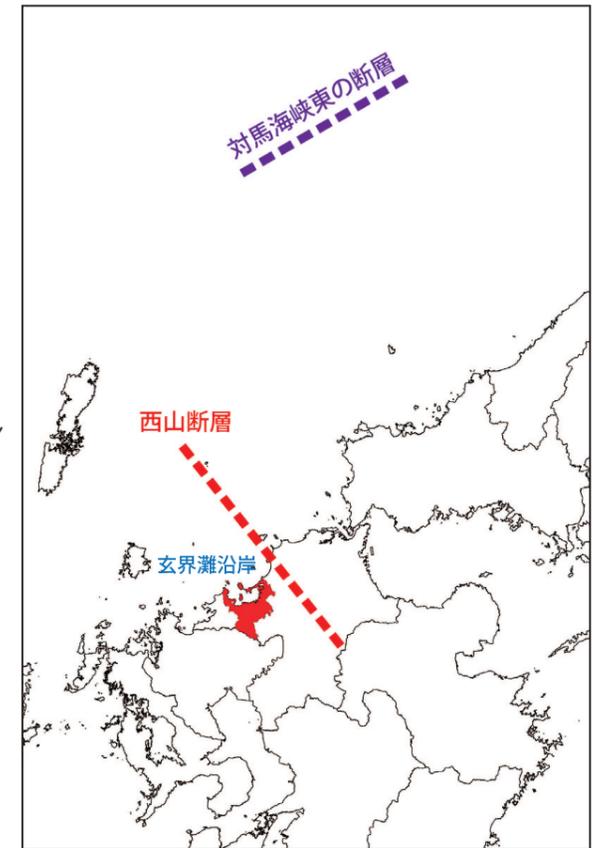
玄界灘沿岸(対象：福岡市)

- ・西山断層「マグニチュード 7.6」
- ・対馬海峡東の断層「マグニチュード 7.4」

■「津波浸水想定」について

「津波浸水想定」は、日本海で大規模な地震が発生した際、海岸の堤防や防波堤等の施設が機能しない場合に想定される津波の浸水域と浸水深を示したものです。耐震化等が十分でない堤防等の施設は、地震の揺れや津波の越流により破壊、沈下すると想定されています。(福岡県が平成28年2月に公表したもの)

- 注1) 浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。
- 注2) 浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場所もあります。



Q 予想される津波の水位・到達時間は？

A：西山断層と対馬海峡東の断層による津波の水位・到達時間が想定されています。

区名	西山断層			対馬海峡東の断層			
	影響開始時間(分)	最高津波水位(TPm)	最高津波到達時間(分)	影響開始時間(分)	最高津波水位(TPm)	最高津波到達時間(分)	
福岡市	西区	20	2.3	143	132	3.3	181
	早良区	30	1.9	38	141	1.8	144
	中央区	32	2.2	41	142	2.0	193
	博多区	35	2.4	42	177	2.3	234
東区	7	2.6	110	111	3.4	152	

※留意点

- ・影響開始時間は、地震発生から津波による水位変動(0.2m上昇時)の影響が出るまでの最短時間。
- ・最高津波到達時間は、最も高い津波水位の到達時間。
- ・ ：各区の最短の影響開始時間、最高津波水位および最高津波到達時間。
- ・津波が高くなる波源と、早く到達する波源は必ずしも同じでないため、区によっては影響開始時間の波源と、最高津波水位の波源で異なることがある。

